



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月12日
東

上場会社名 日本プリメックス株式会社 上場取引所
 コード番号 2795 URL <https://www.primex.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 中川 善司
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 真岡 厚史 (TEL) 03(3750)1234
 四半期報告書提出予定日 2020年11月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	2,423	△31.6	141	△56.3	113	△60.8	77	△57.4
2020年3月期第2四半期	3,544	32.4	323	65.9	287	△19.2	181	△19.9

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 90百万円 (△37.1%) 2020年3月期第2四半期 144百万円 (△38.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	14.72	—
2020年3月期第2四半期	34.56	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	一株あたり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	7,658	5,909	77.2	1,122.91
2020年3月期	8,115	5,924	73.0	1,125.70

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 5,909百万円 2020年3月期 5,924百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想については、新型コロナウイルス感染症の影響により現時点で合理的な業績予想の算定が困難であるため未定とし、記載しておりません。今後、予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期2Q	5,523,592株	2020年3月期	5,523,592株
2021年3月期2Q	260,802株	2020年3月期	260,802株
2021年3月期2Q	5,262,790株	2020年3月期2Q	5,262,790株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本決算短信提出日時点におきまして、業績予想は前記3.2021年3月期の連結業績予想に記載のとおり未定となっております。

今後、当連結会計年度の今後の実績推移と新型コロナウイルス感染の終息状況を考慮し、当社が合理的と判断できる連結業績予想が出来次第、開示の方針です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における国内経済は都心部における若年層を中心とした新型コロナウイルス感染症(以下「コロナ」)の第2次感染など先行き不透明な状況の中、品薄であったマスクの普及により徐々に消費経済活動は活発化する展開となり、政府による特別定額給付金や各種補助金の支給、GoToイート・トラベルなどの直接的支援策により徐々に回復過程にありましたが、未だコロナのワクチン開発、普及には至っておらず、年々拡大傾向に有った多額のインバウンド収入もほぼ消滅し、行き場を失った事業資金の金余りによる証券市場の活況とは裏腹に景気回復は依然として厳しい状況でした。

一方国外においては、感染者の外出による集団感染予防のためのロックダウン措置の導入回避による第2次感染の拡大傾向が加速し、失業者の増加により消費経済は国内に増して低迷しておりました。

このような経済状況の中、当社では、コロナの影響に左右されなかった海外案件が好調であったため海外売上は前年同期を約2%上回りましたが、得意先企業、仕入先企業におけるコロナによる海外部品工場の生産停止が影響し国内売上は前年同期を約35%下回る結果となりました。

売上高は24億23百万円となり、前年同四半期と比べ、11億20百万円(31.6%)の減少となりました。

なお、商品群別業績は次のとおりであります。

当第2四半期連結累計期間における商品群別売上高は、ミニプリンタメカニズムは61百万円(前年同四半期と比べ21百万円(26.4%)の減少)、ケース入りミニプリンタは14億35百万円(前年同四半期と比べ5億56百万円(27.9%)の減少)、ミニプリンタ関連商品は2億79百万円(前年同四半期と比べ3億25百万円(53.8%)の減少)、消耗品は1億94百万円(前年同四半期と比べ49百万円(20.3%)の減少)、大型プリンタは52百万円(前年同四半期と比べ9百万円(15.7%)の減少)、その他は3億99百万円(前年同四半期と比べ1億57百万円(28.3%)の減少)となりました。

売上総利益は6億87百万円となり、前年同四半期と比べ2億21百万円(24.4%)の減少となりました。

販売費及び一般管理費は、売上減に伴う販売費などの変動費用の減少もありましたが、経費節減に努力し、5億45百万円と前年同四半期と比べ39百万円(6.8%)の減少となりました。

営業利益は1億41百万円となり、前年同四半期と比べ1億81百万円(56.3%)の減少となりました。

経常利益は1億13百万円(前年同四半期と比べ1億74百万円(60.8%)の減少)となりました。

税金等調整前四半期純利益は1億13百万円(前年同四半期と比べ1億74百万円(60.7%)の減少)となり、税効果会計適用後の法人税等負担額は35百万円(前年同四半期と比べ69百万円(66.3%)の減少)となりました。その結果、当第2四半期連結累計期間における親会社株主に帰属する四半期純利益は77百万円(前年同四半期と比べ1億4百万円(57.4%)の減少)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて8.4%減少し、57億24百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が2億13百万円、受取手形及び売掛金が2億64百万円、商品及び製品が39百万円それぞれ減少したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて3.5%増加し、19億34百万円となりました。主な要因は、有形固定資産が18百万円減少し、投資有価証券が73百万円増加したことによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて5.6%減少し、76億58百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて26.1%減少し、13億2百万円となりました。主な要因は支払手形及び買掛金が3億80百万円減少し、未払法人税等が46百万円減少したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて3.8%増加し、4億45百万円となりました。主な要因は、役員退職慰労引当金が6百万円、退職給付に係る負債が14百万円それぞれ増加したことによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて20.2%減少し、17億48百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて0.2%減少し、59億9百万円となりました。主な要因は親会社株主に帰属する四半期純利益77百万円の計上、剰余金の配当1億5百万円による、利益剰余金の減少27百万円です。

1株当たり純資産は、前連結会計年度末に比べて2円78銭減少し、1,122円91銭となり、自己資本比率は、前連結会計年度末より4.2%増加し77.2%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前年同四半期に比べ79百万円減少、前連結会計年度に比べ1億2百万円増加し15億29百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によって得られた資金は、27百万円（前年同四半期は3億20百万円）となりました。主な内訳は、税金等調整前四半期純利益1億13百万円、為替差損40百万円、売上債権の減少2億64百万円、たな卸資産の減少42百万円、仕入債務の減少3億80百万円、法人税等の支払額86百万円となっております。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によって得られた資金は、2億21百万円（前年同四半期は支出5億53百万円）となりました。これは主として定期預金の預入による支出13億22百万円に対し、定期預金の払戻による収入が16億20百万円であったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により支出した資金は1億25百万円（前年同四半期は1億36百万円）であり、これは主として配当金の支払額1億5百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当事業年度の連結業績予想につきましては、2020年3月期決算短信（2019年5月25日開示）により公表いたしました通り未発表であります。今後の実績進捗状況を精査し、新型コロナウイルスの終息状況を考慮した上で、業績予想がおこなえると判断した場合には速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,194,929	3,981,760
受取手形及び売掛金	1,524,951	1,260,822
商品及び製品	312,178	272,738
原材料及び貯蔵品	210,384	207,501
その他	5,224	2,520
貸倒引当金	△1,525	△1,261
流動資産合計	6,246,141	5,724,083
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	232,728	226,522
機械装置及び運搬具（純額）	12,579	11,728
工具、器具及び備品（純額）	30,744	27,593
土地	971,334	971,334
リース資産（純額）	113,326	104,759
有形固定資産合計	1,360,713	1,341,939
無形固定資産		
リース資産	66	-
その他	19,668	24,085
無形固定資産合計	19,734	24,085
投資その他の資産		
投資有価証券	354,669	428,171
繰延税金資産	121,125	126,293
その他	19,495	20,007
貸倒引当金	△6,044	△6,157
投資その他の資産合計	489,244	568,316
固定資産合計	1,869,691	1,934,341
資産合計	8,115,833	7,658,425

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,485,975	1,105,097
未払法人税等	92,205	45,982
賞与引当金	49,989	46,373
その他	133,824	105,292
流動負債合計	1,761,995	1,302,745
固定負債		
役員退職慰労引当金	176,771	183,093
退職給付に係る負債	220,081	235,073
その他	32,641	27,823
固定負債合計	429,493	445,990
負債合計	2,191,488	1,748,735
純資産の部		
株主資本		
資本金	393,997	393,997
資本剰余金	283,095	283,095
利益剰余金	5,545,738	5,517,766
自己株式	△158,900	△158,900
株主資本合計	6,063,931	6,035,959
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△139,586	△126,270
その他の包括利益累計額合計	△139,586	△126,270
純資産合計	5,924,345	5,909,689
負債純資産合計	8,115,833	7,658,425

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	3,544,560	2,423,768
売上原価	2,635,695	1,736,671
売上総利益	908,865	687,096
販売費及び一般管理費	585,797	545,842
営業利益	323,067	141,253
営業外収益		
受取利息	6,832	1,271
受取配当金	10,661	10,748
その他	560	1,857
営業外収益合計	18,054	13,877
営業外費用		
支払利息	1,576	870
為替差損	46,115	41,080
その他	5,447	154
営業外費用合計	53,139	42,105
経常利益	287,982	113,026
特別利益		
固定資産売却益	330	-
特別利益合計	330	-
特別損失		
固定資産除却損	1,157	26
特別損失合計	1,157	26
税金等調整前四半期純利益	287,154	113,000
法人税、住民税及び事業税	113,541	40,681
法人税等調整額	△8,292	△5,168
法人税等合計	105,248	35,512
四半期純利益	181,905	77,487
親会社株主に帰属する四半期純利益	181,905	77,487

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	181,905	77,487
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△37,653	13,316
その他の包括利益合計	△37,653	13,316
四半期包括利益	144,252	90,803
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	144,252	90,803
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	287,154	113,000
減価償却費	42,265	39,343
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	18,375	14,992
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	11,360	6,322
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,451	△3,616
貸倒引当金の増減額(△は減少)	4,797	△151
受取利息及び受取配当金	△17,494	△12,020
為替差損益(△は益)	45,170	40,232
売上債権の増減額(△は増加)	△26,327	264,128
たな卸資産の増減額(△は増加)	△76,303	42,321
仕入債務の増減額(△は減少)	160,983	△380,878
有価証券評価損益(△は益)	2,341	-
未払消費税等の増減額(△は減少)	△10,765	△22,416
その他	2,428	△308
小計	445,439	100,948
利息及び配当金の受取額	17,163	14,563
利息の支払額	△1,529	△870
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△140,816	△86,904
営業活動によるキャッシュ・フロー	320,256	27,736
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,872,248	△1,322,946
定期預金の払戻による収入	1,355,427	1,620,146
有形固定資産の取得による支出	△30,445	△5,250
投資有価証券の取得による支出	-	△60,186
その他	△6,681	△9,847
投資活動によるキャッシュ・フロー	△553,948	221,916
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△105,272	△105,293
その他	△31,105	△20,095
財務活動によるキャッシュ・フロー	△136,377	△125,388
現金及び現金同等物に係る換算差額	△29,498	△21,580
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△399,568	102,683
現金及び現金同等物の期首残高	2,007,969	1,426,426
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,608,400	1,529,110

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

該当事項はありません。